



講演する河合雅司さん
＝多治見市虎溪山町、とうしん学びの丘エール

人口減での経営説く

東信経済倶楽部作家・河合さん講演

東濃信用金庫(多治見市)の取引先の経営者でつくる東信経済倶楽部の講演会が28日、同市虎溪山町のとう

しん学びの丘エールで開かれた。作家・ジャーナリストの河合雅司さんが「未来の年表〜人口減少日本で起きること〜」をテーマに語った。

人口減少対策総合研究所理事長を務める河合さん。住宅やマイカーなど大きな買い物を始める年代という30代前半の日本人が30年後には約3割少なくな

るとの人口推計を紹介し、「国内マーケットは高齢化により消費が減り、実際の人口の減少以上に内需は減る。企業経営者は今までのやり方では利益を上げていくのが難しくなる」と断言した。

日本を沈没しかけの船に例え、「沈むスピードを遅らせるには、蓄えてきた宝をどの順に捨てていくかのトリアージが必要になる」と指摘した。薄利多売から利益重視の経営モデルへの

転換を訴え、もつからない事業から撤退し、経営資源をキラーコンテンツに回すよう提案。「各企業はどの事業を残し磨くのか2020年代には決めておかなければならない」と訴えた。

講演会は447回目。会員ら約120人が耳を傾けた。
(小森直人)